



愛媛大学基金

EHIME UNIVERSITY FOUNDATION



地域に羽ばたく

人材育成を

ご支援願います



愛媛大学の教育研究活動に対し、日頃から温かいご支援を賜り、心より御礼申し上げます。

本学は、地域に立脚する大学として、教育改革の成果を着実に上げ、教育や研究、社会・国際連携、及び地域医療の推進等を通して人材育成の機能を強化しています。

一方、本学の教育、研究を支える財政面では、2004年の国立大学法人化以降、国立大学への運営費交付金が毎年削減され、現在、本学においても極めて厳しい財政状況にあります。具体的には、本学の運営費交付金は、法人化時に比べ、約20億円の減額となっており、教育研究水準を維持することが困難な状況となりつつあります。

このような事情を背景に、2016年4月に「愛媛大学基金」を創設し、第3期中期目標期間中の6年間（2016年度～2021年度末迄）に、目標額を3億円以上と設定し、活動しています。

創設から2年間の経過した2018年3月現在、寄附累計額は、

287,520千円（目標額の96パーセント）となりました。

基金は、学生の海外派遣支援、経済困窮学生へ給付型奨学金による支援、学生（留学生含む。）への教育活動支援、教育研究環境の整備（校舎新営等）などに活用させていただいております。

引き続き、地域の知の拠点として、教育研究レベルを維持、向上させていくためには、財政的基盤の構築が不可欠です。今後とも、愛媛大学基金設立の趣旨にご理解とご賛同をいただき、継続的なご支援を賜りますようお願い申し上げます。



2018年11月

国立大学法人 愛媛大学長
大橋 裕一

データでみる 「愛媛大学基金」の現状

愛媛大学では、地域に立脚する大学として、教育改革の成果を着実に上げ、教育研究、社会・国際連携、地域医療の推進等を通して人材育成の機能を強化していくために、2016年4月に「愛媛大学基金」を創設し、2018年3月末をもって、2年間が経過しました。

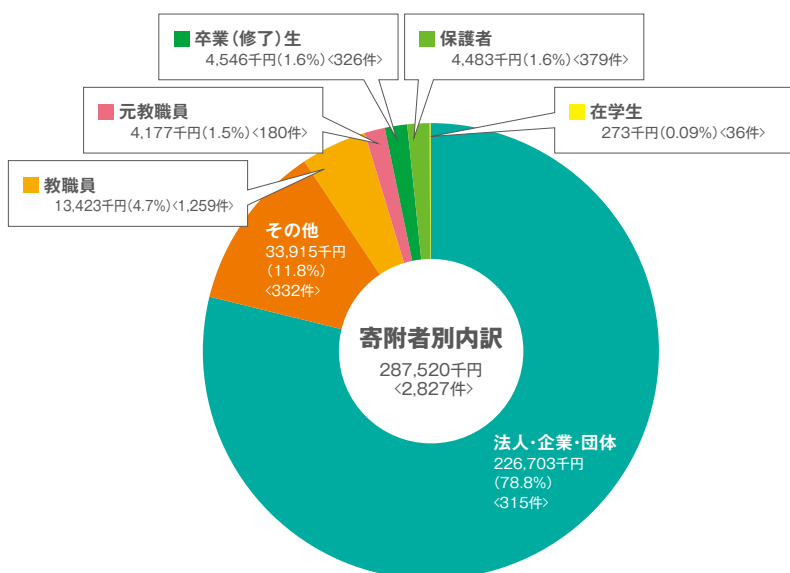
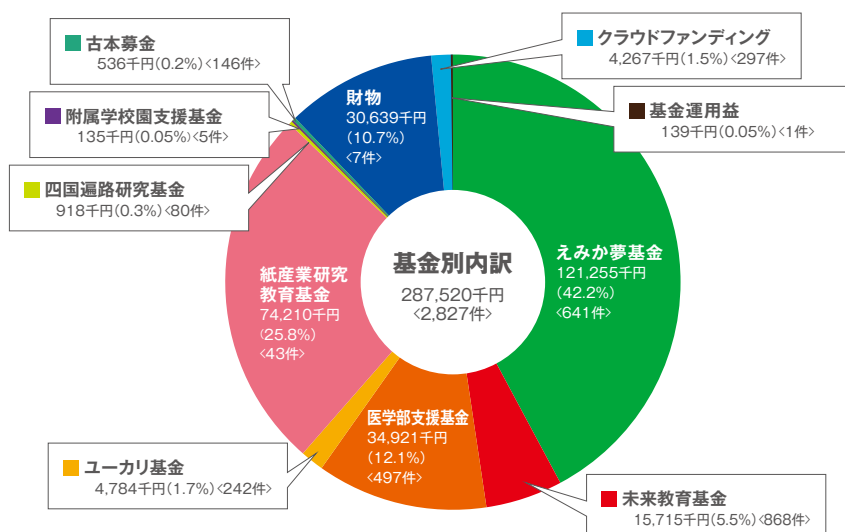
基金は、用途を特定せず幅広く活用させていただく『えみか夢基金』、用途を限定して各種事業を行う『特定基金』、多様な寄附金受入の手段として、古本募金、財物、遺贈制度等を整備している『その他の基金活動』から構成されています。

基金設立後、まずは学内教職員へ寄附募集を行い、その後、記者説明会の実施や、県内経済団体への設立のご説明を経た後に、県内外の企業の皆様を訪問させていただきました。企業訪問数は、2016年度には80社、2017年度には200社を超えるまでに至りました。また、多様な寄附金受入の一つとして、クラウドファンディングにもチャレンジしています。

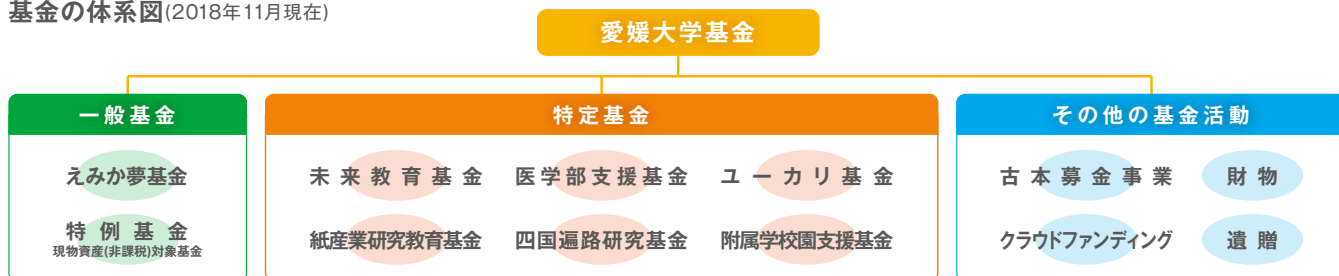
これら2年間の取組の結果、寄附累計額・件数は、287,520千円(2,827件)に到達することができました。

企業や一般篤志家の皆様からのご寄附は、下記に示すとおり、学生の修学支援のため有意義に活用させていただいております。

愛媛大学基金受入状況内訳
(2016年度～2017年度末までの累計)



基金の体系図(2018年11月現在)



特定基金

未来教育基金 修学サポート奨学金

家計支持者が会社の倒産、解雇等により失職した場合など特別な理由により、経済的に困窮し、修学を継続することが困難になった学生に対し、授業料の半学期分に相当する金額を、緊急的・応急的に支援する返還不要の給付型奨学金制度です。

支給実績 対象者:学部学生及び大学院生 7名(1,875千円)

紙産業研究教育基金 校舎新営

紙産業に関する教育・研究環境の充実を図るために、行政・産業界等からの支援を得て、四国中央市に「紙産業イノベーションセンター校舎」を新営することができました。



活用実績 校舎新営(2019年2月竣工) 66,305千円

医学部支援基金 実習設備更新・課外活動施設整備

医学部における人材育成に資する各種事業を推進するため、医学部実習用設備・運動施設整備を行うことができました。



活用実績 学生教育実習支援事業・教育施設等整備事業等 18,738千円

地域定着促進特別奨学金

本学の第3期中期目標の一つである、卒業生の愛媛県内定着率50%以上を達成するための一助として創設した、返還不要の給付型奨学金です。学生の県内企業等への就職・定住を目指し、就職活動期に入る学生を対象に、学業及び就職活動等への経済的支援を行っています。

年間支給見込額 400万円(20万円×20名)

海外派遣支援

第3期中期目標において、日本人学生の海外派遣者数(長期・短期)を第2期中期目標期間より50%以上増加させることとしています。また、愛媛県の産業界や地域からも期待されている、海外や県内の各地域において活躍可能なグローバル人材を育成すべく、学生の海外派遣渡航費の一部支援を行っています。

学生海外派遣実績 37名(3,994千円)



ご寄附いただいた皆様の声

愛媛大学に期待しています!

弊社と愛媛大学の関わりは深く、農学部への寄附講座、工学部や理学部との共同研究等を実施し、大きな成果を挙げています。創業以来「愛媛／松山」に本社を置く弊社にとって、身近に先進的な取り組みを行っている総合大学があるのは、非常に心強いことです。また、現在、国内従業員の実に7人に1人が愛媛大学卒業生となり、様々な分野で活躍してくれています。

ミウラグループは、熱・水・環境の分野で、環境に優しい社会、きれいで快適な生活の創造に貢献することを目指し、世界21ヶ国で事業を展開しています。今後ますます世界のお客様のお役に立つために、ミウラは、グローバルな視点を持ち、ネアカで挑戦できる人、仕事を通して成長し社会貢献したい人、テクノサービス力(技術力×人間力)を高めていきたい人を熱望しています。

愛媛大学の多方面にわたるご活躍と、地域・国際社会の発展に貢献できる人材の育成を大いに期待し、引き続き応援してまいります。



三浦工業株式会社
代表取締役会長
高橋 祐二

地域の発展に貢献できる人材育成を期待しています!

当社では、CSR(企業の社会的責任)活動の一環として、数々の地域貢献事業を実施しています。

この度、地域社会を担い、地域に貢献できる人材を育成する「愛媛大学基金」の趣旨に賛同し、フィールドワークやインターンシップ、海外留学支援など「人材育成」に活用する「えみか夢基金」へ寄附をさせていただきます。

人口減少や若者の流出など、愛媛県が抱えている課題は深刻です。今後、我々地元企業と愛媛大学が連携を深めることにより、オール愛媛体制で愛媛の経済・産業等を振興させていく必要があると考えています。

愛媛大学には、多岐にわたる教育・研究の成果等を積極的に活用し、地域の発展に貢献できる人材を育成いただくことを期待しています。



株式会社ヒカリ
代表取締役社長
富田 耕治

優秀な人材を継続的に輩出することを期待しています!

当社は、愛媛県発の企業として、地域貢献活動、健康セミナーの実施や、スポーツ活動への協賛等を実施することにより、地域社会と地域の人々に貢献する企業を目指しています。

今回、愛媛大学基金の理念に賛同し、「えみか夢基金」及び、愛媛大学のスポーツ向上支援のために、体育系サークルにサプリメント等を寄附させていただきました。

現在、当社は、瀬戸内県内を核としたドミナント戦略を展開、地域NO.1のドラッグチェーンへ成長発展を続けており、若い優秀な人材を求めています。

愛媛大学の持つ各種機能を活かし、優秀な人材を愛媛県内へ継続的に輩出いただくことにより、地元企業や経済の発展に貢献いただきたいと思っています。



株式会社レイテイ薬局
代表取締役社長
三橋 信也

ご支援いただいた学生の声

将来、世界を舞台に仕事がしたい

留学は、高校生のころからしたいと思っていたので、奨学金という形で支援していただいたおかげで実現できたことに、本当に感謝しています。この英国バンガー大学への約3週間の留学がきっかけで、さらに長い期間行ってみたいという意欲や、英語学習への意欲がわきました。今後は、さらに長期の1年間の留学も考えています。将来は、世界を舞台に仕事してみたいと思っています。

今回のえみか夢基金から支給された奨学金によって、留学するためのお金を貯めるために、アルバイトしなければいけない時間も、留学のための準備や、英語の学習に使うことができました。また、このように奨学金が出る、ということで親の後押しがより一層強くなり、留学への金銭面での迷いというものが少なくなりました。ありがとうございました。



社会共創学部
環境デザイン学科2回生
伊藤 誠祥

留学は自信につながった

この度は留学に際して「えみか夢基金」から奨学金を給付していただき、ありがとうございました。私は、スウェーデンのルンド大学に半年間、交換留学生として滞在しました。留学中は数学の講義を受けたり、現地の指導教員のもとで卒業研究に取り組み成果を論文にまとめたりして、専門性を深めることができました。また、知り合いが全くおらず言葉も不自由な環境に一人で飛び込み、半年間の大学生活を送ることができたことは自信につながりました。

将来的には、数学を活かして臨床統計学を学び、国籍問わず多様な人々と協働しながら医療福祉分野に貢献したいと考えています。今回の留学で得た専門知識やコミュニケーション能力を今後のキャリア形成に生かせるよう、努力を重ねていきます。



理学部数学科4回生
石井 遥

クラウドファンディング

本学の人材育成に係る新たなプロジェクト事業に対して、インターネットを介して多様な皆様からのご支援をお願いする寄附型クラウドファンディングを実施することにより、全国の皆様からご寄附を募り、新たな財源確保に取り組んでいます。

実施実績 2事業実施 4,267千円

遺贈

一般篤志家の皆様や本学卒業生・教職員が所有しておられる資産の一部を将来、本学に『遺贈（遺言によるご寄附）』としてご寄附したいとお考えの皆様に対し、その手続きをお手伝いさせていただくため、制度設計させていただきます。

古本募金事業

一般の皆様や卒業生、在学生、教職員の皆様から読み終えた書籍をご提供いただき学生を支援し『人材育成事業／奨学金等』に役立てるものです。ISBNコードの付いた本等を5冊以上処分される場合、専用ダイヤル(0120-826-292)にお電話いただきますと、提携先業者がご自宅等に無料で集荷にお伺いさせていただきます。

2017年度未実績 御寄附いただいた古本 27,031冊、536千円

ご寄附いただいた皆様の声

二宮翔会へのクラウドファンディングに参加するにあたり…

「二宮翔会がクラウドファンディングだった？」そのとき酸いも甘いも駆け抜けた青春時代に色とりどりに花を添えるは、学友との語らいか試行錯誤を続けたサークル活動の在りし日かと思いを馳せた。「支援しようじゃないか!」二宮翔会のチャーターメンバーでもあった私は彼らの頑張りにも少しでも報いたい気持ちが鼻目にもあったに違いないが、愛媛大学基金への支援を後押ししたのがクラウドファンディングである。「ふわっと」した気持ちでも参加できる手軽さが魅力的だった。

後輩たちのチャレンジに卒業生として力添えしたい気持ちを愛媛大学基金という受け皿で実現できたことは大変ありがたかったし、これからも様々な手法を用いて目的達成のため、基金の醸成を期待してやみません。



2005年度 理工学研究科修士 生 森口 善宣

チャレンジャーの声

クラウドファンディングにチャレンジし、空への挑戦ができるようになった

私たち二宮翔会は、愛媛大学の人力飛行機サークルです。この度は、私たちのサークルにクラウドファンディングという形で多額のご支援を頂きました。その結果、人力飛行機製作に必要な材料を調達できるようになりました。そうして、今年は、天候不順によりフライトは叶いませんでしたが、2018年度の鳥人間コンテストに出場することができました。今後の目標としては、来年度以降の鳥人間コンテストへの出場、およびチーム記録の更新を目指していきます。

最後にこの場をお借りして支援者の皆様へ感謝の気持ちを申し上げたいと思います。本当に多額の御支援ありがとうございました。これからも応援宜しくお願い致します。



愛媛大学 航空力学研究会 二宮翔会 中村 隼也

支援によって大きな大会に参加することができた

皆様にご支援してもらったクラウドファンディングで、日本ID陸上競技大会や、愛媛マラソンに参加させていただきました。このような大きな大会でユニフォームを着て仲間とともに走りたくさんの方々の応援にこたえようと頑張りました。

社会人になり、仕事中心の生活を送っていて、現在、毎日が仕事で精一杯の日々です。時間は掛かるかもしれませんが、いつか育てていただいた先生方や仲間のみなさんの力になれるといいなと思っています。

今はまだ、陸上で大きな成績を残すまでは至っていません。僕は与えられた仕事に向き合って、日々、一生懸命頑張っています。その姿で、皆さんにお返事出来たらと思います。



愛アスリートクラブ (教育学部附属特別支援学校卒業生) 藤田 和光

謝意及び税法上の優遇措置について

個人・法人・企業・団体等の皆さまへ、謝意及び税法上の優遇措置をご準備しています。詳細は愛媛大学基金ホームページをご覧ください。

[愛大基金 ご寄附への謝意](#)

[愛大基金 税法上の優遇措置](#)

特別メッセージ / 開学70周年を迎えるにあたって



副学長(広報・70周年担当) 若林 良和

2019年11月11日、愛媛大学は開学70周年を迎えます。

1949(昭和24)年に章光堂(旧文理学部講堂)で入学式が挙行されて、はや、70年となります。文理学部と教育学部、工学部の3学部でスタートした愛媛大学は、その後、農学部と医学部の設置、文理学部の改組による法文学部と理学部の設置、さらに、2016(平成28)年に社会共創学部が新設されました。

現在、7学部と6大学院研究科で1万人近い学生を擁する四国最大の総合大学として、愛媛大学は数多くの優れた人材を輩出しています。愛媛大学は、大学ビジョン「輝く個性で、地域を動かし世界とつながる大学」をもとに、特色ある教育、先端的な研究を展開すると

ともに、地域の産業発展に貢献しております。今後も、地域の「知の拠点」として、地域を牽引してグローバルな視野で社会に貢献する人材の育成に邁進いたします。

70周年を迎えるにあたり、卒業生や地域の方々、元教職員をはじめ皆様のご愛顧に感謝を込めて、これまでに培われた知をもとに、地域と世界のつながりをより強化するための契機となるような情報発信をしていく所存であります。愛媛大学の特色と強みを活かして、様々な取り組みを積極的に推進してまいります。今後とも、皆様の温かいご支援とご協力を賜りますように、何卒、よろしくお願い申し上げます。

